

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 26 年 2 月 27 日 (2014.2.27)

【公表番号】特表 2013-517149 (P2013-517149A)  
 【公表日】平成 25 年 5 月 16 日 (2013.5.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-024  
 【出願番号】特願 2012-549101 (P2012-549101)  
 【国際特許分類】

**B 2 3 B 51/04 (2006.01)**

【F I】

B 2 3 B 51/04 S

B 2 3 B 51/04 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 1 月 7 日 (2014.1.7)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

略円筒状の鋸身と、その鋸身に設けられた切削エッジと、ワークピーススラグを鋸身内から除去可能な梃子をそこから鋸身内に差し込めるよう鋸身に貫通形成され、切削エッジから離隔した 1 個又は複数個の軸沿い長孔と、軸沿い長孔内に面するよう鋸身に設けられワークピーススラグを鋸身内から梃子で除去する際にその梃子と連携する複数個の梃子枕と、を有し、当該複数個の梃子枕が、切削エッジから離隔した軸沿い位置を占める第 1 梃子枕と、第 1 梃子枕に比べ切削エッジから更に離隔した軸沿い位置を占める第 2 梃子枕と、を含むホールカット。

【請求項 2】

請求項 1 記載のホールカットであって、軸沿い長孔の一端又はその近傍に第 1 梃子枕、他端又はその近傍に第 2 梃子枕があるホールカット。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載のホールカットであって、第 1 梃子枕と第 2 梃子枕の軸沿い位置に挟まれた軸沿い位置を占める第 3 梃子枕を有するホールカット。

【請求項 4】

請求項 3 記載のホールカットであって、第 3 梃子枕が第 1 及び第 2 梃子枕のほぼ中間に当たる位置を占めるホールカット。

【請求項 5】

請求項 3 記載のホールカットであって、第 2 梃子枕が第 1 梃子枕から離隔した軸沿い位置及び角度位置を占め、第 3 梃子枕がそれら第 1 及び第 2 梃子枕で挟まれた角度位置及び軸沿い位置を占めるホールカット。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 記載のホールカットであって、その軸沿い長孔が、切削エッジに近接し、かつ切削エッジから離隔した軸沿い位置にある第 1 端と、第 1 端に比べ切削エッジから更に離隔した軸沿い位置にある第 2 端と、を有し、第 2 端の角度位置が、切削エッジによる切削の方向即ちホールカットの回転方向に沿い第 1 端より後方であり、その軸沿い長孔が鋸身の軸に対し鋭角をなす、ホールカット。

【請求項 7】

請求項 6 記載のホールカッタであって、その鋭角が約  $30^{\circ}$  以上のホールカッタ。

【請求項 8】

請求項 7 記載のホールカッタであって、その鋭角が約  $35^{\circ} \sim 60^{\circ}$  の範囲内であるホールカッタ。

【請求項 9】

請求項 6 記載のホールカッタであって、切削エッジから第 1 梃子枕までの軸沿い距離たる第 1 距離、第 2 梃子枕までの軸沿い距離たる第 2 距離、並びに第 3 梃子枕までの軸沿い距離たる第 3 距離が、順に、約  $1/2 \sim 1$  インチの範囲内、約  $1 + 1/2 \sim 2$  インチの範囲内の値、約  $1 \sim 1 + 1/2$  インチの範囲内であり、第 2 梃子枕が第 1 梃子枕から離隔した角度位置を占め、第 3 梃子枕がそれら第 1 及び第 2 梃子枕で挟まれた角度位置を占めるホールカッタ。

【請求項 10】

請求項 1 又は 2 記載のホールカッタであって、その切削エッジが、刃溝を挟み並ぶ一群の刃先で形成された複数個の鋸歯を有し、その切削エッジから軸沿い長孔の第 1 端までの軸沿い距離が約  $15/100 \sim 3/8$  インチの範囲内であり、この距離を測る際の基準が、( i ) その切削エッジに備わる刃溝のうち最も深いもの、又は ( i i ) その切削エッジに備わる鋸歯のうち目立てされていないものの刃先で形成される平面である、ホールカッタ。

【請求項 11】

請求項 1 から 3 のいずれか一項記載のホールカッタであって、各梃子枕の表面が切削エッジに対し略平行なホールカッタ。

【請求項 12】

請求項 1 1 記載のホールカッタであって、梃子枕の表面が直線的、湾曲付又はその組合せであるホールカッタ。

【請求項 13】

請求項 1 から 3 のいずれか一項記載のホールカッタであって、各梃子枕が、切削エッジに対し略平行な第 1 面、並びに当該第 1 面に対し略直交する 1 個又は複数個の第 2 面を含め、複数個の面を有するホールカッタ。

【請求項 14】

請求項 1 又は 2 記載のホールカッタであって、その軸沿い長孔の最小幅が、2 号スクリュードライバを差し込める約  $0.27$  インチであるホールカッタ。